

令和3年10月21日
第四管区海上保安本部

令和3年10月定例記者懇談会資料

【広報案件】

- ・ 153周年灯台記念日について (交通部：企画課)

【連絡事項】

- ・ 第37回危険業務従事者叙勲（海上保安関係）について (総務部：人事課)
- ・ 新しい海図シリーズを発行
～海外での迅速で容易な入手にむけて～ (海洋情報部)

【ミニ講座】

- ・ 灯台の活用について (交通部：企画課)

【問い合わせ先】
交通部企画課
企画課長 吉本 秀幸
電話 052-661-1611（内線 2610）



令和3年10月21日
第四管区海上保安本部

153周年灯台記念日について ～11月1日は灯台記念日です～

幕末から明治にかけ、開国そして海外交易発展のための西洋技術を用いた灯台の建設は、明治元年（1868年）に観音埼灯台（神奈川県横須賀市）から始まりました。

海上保安庁では、この日本初の洋式灯台の建設に着手した日（明治元年（1868年）11月1日）にちなみ、毎年11月1日を『灯台記念日』と定めており、今年で153周年を迎えます。

第四管区海上保安本部では、153周年を迎える同記念日を祝し、各地でイベントを開催します。

1 博物館明治村における海上保安庁特別展示

博物館明治村（愛知県犬山市）に展示されている品川燈台及び菅島燈台附属官舎前の広場において、灯台の灯器（電球式灯器、LED灯器）や重要文化財に指定された灯台に関するパネルの展示、灯台ペーパークラフトの配布、中日海洋少年団による手旗信号実演等を行います。

また、30日（土）及び31日（日）には、第四管区海上保安本部オリジナルのマスク又はエコバッグ※が貰える来場者限定のイベントを行います。

会場には、海上保安庁イメージキャラクター「うみまる」と「うーみん」が登場します。

【日時】 令和3年10月29日（金）～31日（日）10：00～17：00

〃 11月1日（月）10：00～16：00

【場所】 博物館明治村内

品川燈台・菅島燈台附属官舎前広場

※グッズは、数に限りがありますので、ご了承ください。

※イベント期間中は、通常非公開の品川燈台の内部が特別公開されます。（博物館明治村主催）

取材を希望される場合は、10月28日（木）までに問い合わせ先へ連絡をお願いします。

2 イベント

実施日	実施場所	行事内容	担当事務所
10月31日(日)	野間埼灯台 (愛知県知多郡美浜町)	灯台一般公開 (10:00~16:00) ※09:40~整理券配布	名古屋海上保安部 (Tel.052-661-1615)
11月3日(水)	大王埼灯台 (三重県志摩市)	灯台一般公開 (10:00~16:00)	鳥羽海上保安部 (Tel.0599-25-2303)
11月3日(水)	安乗埼灯台 (三重県志摩市)	灯台一般公開 (10:00~16:00)	鳥羽海上保安部 (Tel.0599-25-2303)

※天候や業務の都合等で中止となる場合があります。

※開催時間等の詳細については、担当事務所にお問い合わせください。

3 その他

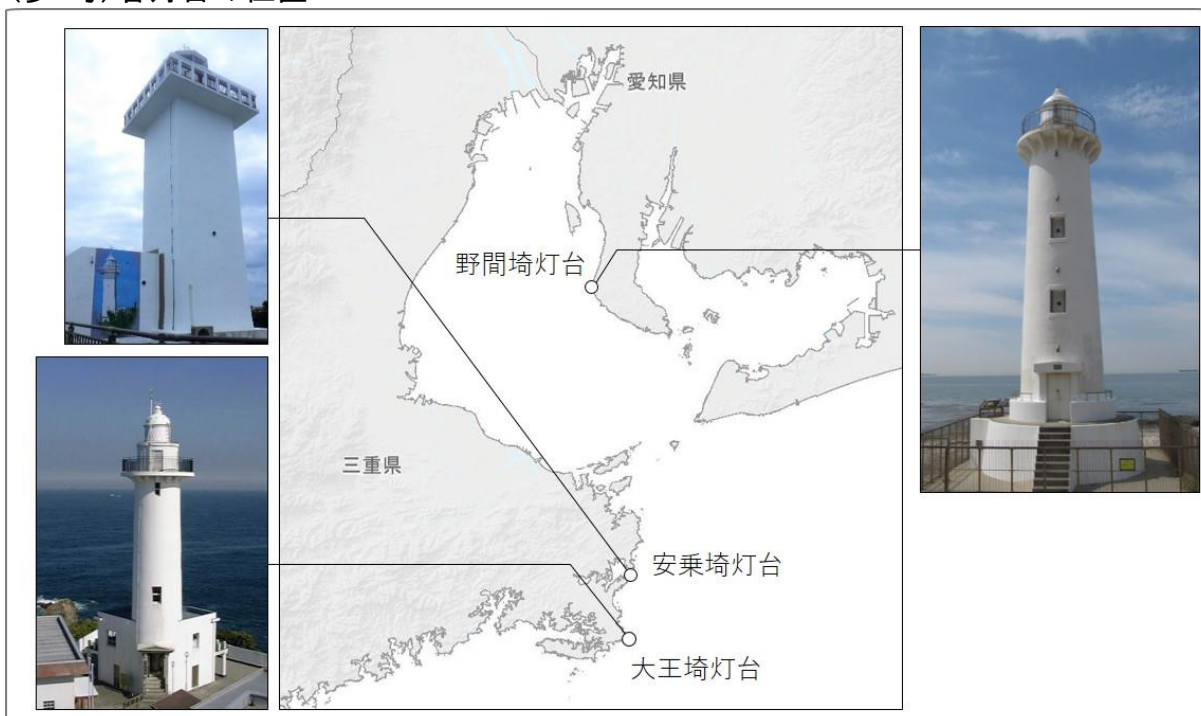
153周年灯台記念日を迎えるにあたり、航行援助業務等に協力いただいている方々を表彰する予定です。

【参考】

以下の灯台では、公益社団法人「燈光会」が航路標識の周知啓発の一環として、年間を通して灯台の参観事業（一般公開）を行っています。

灯台名（所在地）	参観時間	問い合わせ先
大王埼灯台 (三重県志摩市)	9:00~16:00	公益社団法人「燈光会」 大王埼支所 (Tel.0599-72-1899)
安乗埼灯台 (三重県志摩市)	9:00~16:00	公益社団法人「燈光会」 安乗埼支所 (Tel.0599-47-5622)

(参考)各灯台の位置



【野間埼灯台】



【大王埼灯台】



【安乗埼灯台】



【問い合わせ先】

総務部人事課

人事課長 丸山 恭平

電話 052-661-1611 (内線 2130)

令和3年10月19日
第四管区海上保安本部**第37回危険業務従事者叙勲（海上保安関係）について**

第37回危険業務従事者叙勲受章者（11月3日付け）として、第四管区海上保安本部関係では、下記の6名が決定されましたので発表します。

記

賞 賜	主 要 経 歴	氏 名	年 齢	現 住 所
瑞宝 双光章	元 名古屋海上保安部次長	ヤマガチ トモオ 山口 富雄	84	三重県鈴鹿市住吉 4-22-12
瑞宝 単光章	元 名古屋海上保安部 灯台見回り船あやばね 機関長	カガミ ミツヒロ 岡田 光弘	65	愛知県豊橋市牟呂市場町20-22
瑞宝 単光章	元 第四管区海上保安本部 警備救難部救難課 運用司令センター主任運用官	カイ ノボル 坂井 昇	65	愛知県半田市清城町1-2-6-603
瑞宝 単光章	元 伊勢湾海上交通センター 運用管制課 統括運用管制官	カキハラ ミツヨシ 榊原 光義	65	愛知県安城市宇頭茶屋町大浜屋敷 76
瑞宝 単光章	元 名古屋港海上交通センター 運用管制課 統括運用管制官	シカイ ヨシアキ 新海 良明	65	愛知県田原市古田町広海道19-2- 1-102
瑞宝 単光章	元 第四管区海上保安本部 警備救難部救難課 運用司令センター主任運用官	ナカジマ ヒロシ 中島 浩	65	愛知県名古屋市千種区若水2-2-2- 616

※年齢は11月3日現在

功績（海上保安功労）：永年にわたり海上保安官として、現場第一線において危険かつ厳しい勤務環境の中で職務に献身的に精励し、国家公共のために尽力した。



令和3年8月19日
海上保安庁

新しい海図シリーズを発行 ～海外での迅速で容易な入手にむけて～

海上保安庁では、新しい海図シリーズを発行します。
第1号として、令和3年8月に『JPN1 NIPPON AND THE ADJACENT SEAS 日本及近海』
を発行します。

日本で海洋調査から海図作製までを一貫して行う水路業務が始まって150周年^{*1}となる令和3年に、海上保安庁では新しい海図シリーズの発行を開始します。

現在、我が国が発行している航海用海図には、和文と英文が併記された海図シリーズ（637版^{*2}）と、英文のみで色調が異なる海図シリーズ（139版^{*2}）の2種類があります。和文と英文が併記された海図は主に国内の取扱店で、英文のみの海図は世界中の取扱店で販売されています。

新しく発行する海図シリーズは、英文と和文の表記方法や色調を変更し、現行の2つのシリーズを統合するもので、世界中の拠点で印刷と供給が可能となるよう、仕様を変更し、より迅速かつ容易に入手できる体制の推進を図っていきます。また、新しい海図シリーズでは、我が国が発行した海図であることを示す「JPN」を冠した番号を付与します。

新しい海図シリーズの第1号として、先行モデルの意味も持たせ、我が国全体を包含する区域を収めた『JPN1 NIPPON AND THE ADJACENT SEAS 日本及近海』を発行します。

図番号	図名	縮尺	用紙サイズ	価格 (税込)	発行日
JPN1	NIPPON AND THE ADJACENT SEAS 日本及近海	1:5,000,000	1,085x765mm	3,520円	8月27日

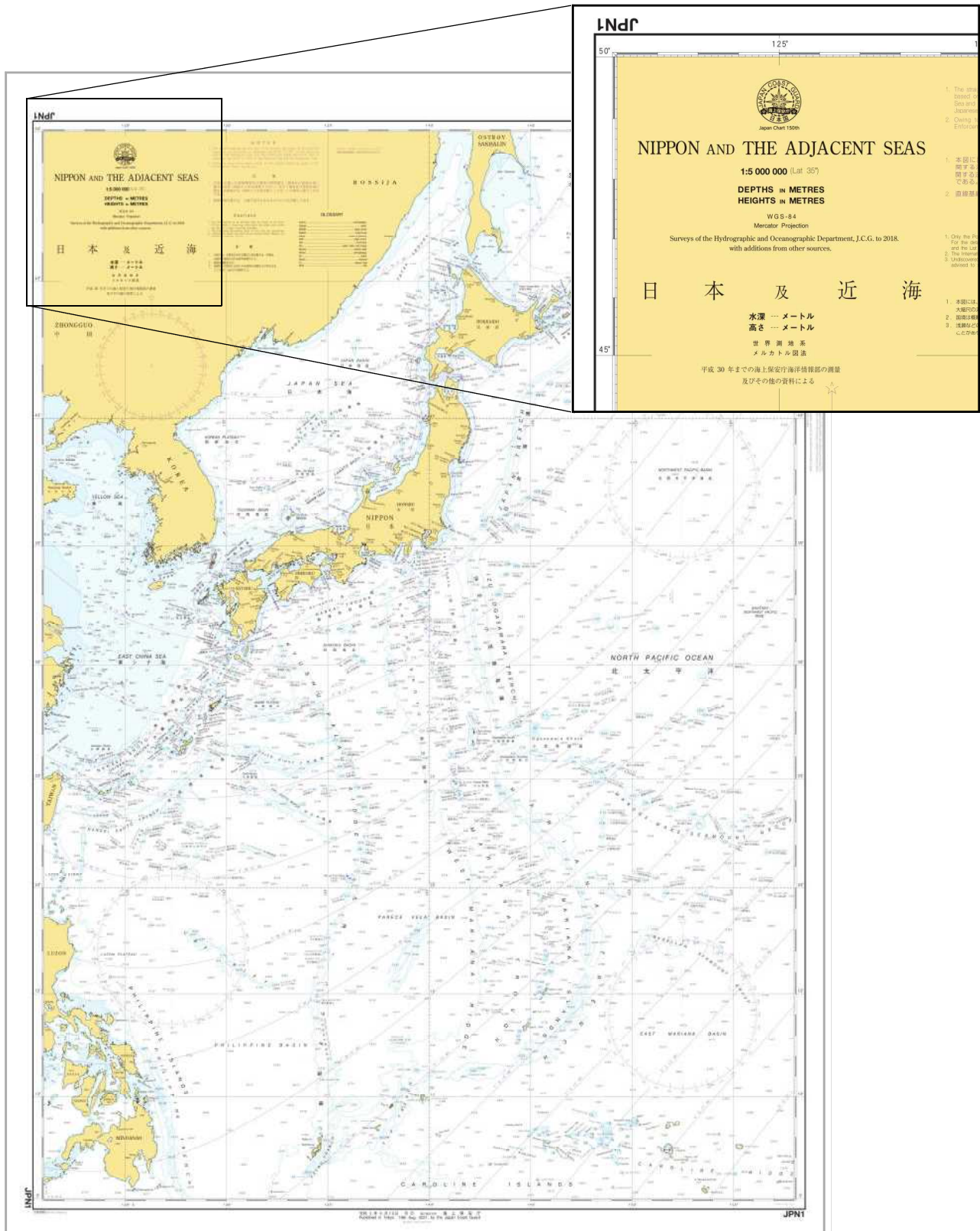
なお、現在発行している海図は、令和4年度以降、新しい海図シリーズに順次移行していきます。

*1: 明治4(1871)年に我が国独自で海洋調査から海図作製までを行う機関が設置されてから、令和3年で150周年を迎えました。

*2: 令和3年8月1日現在

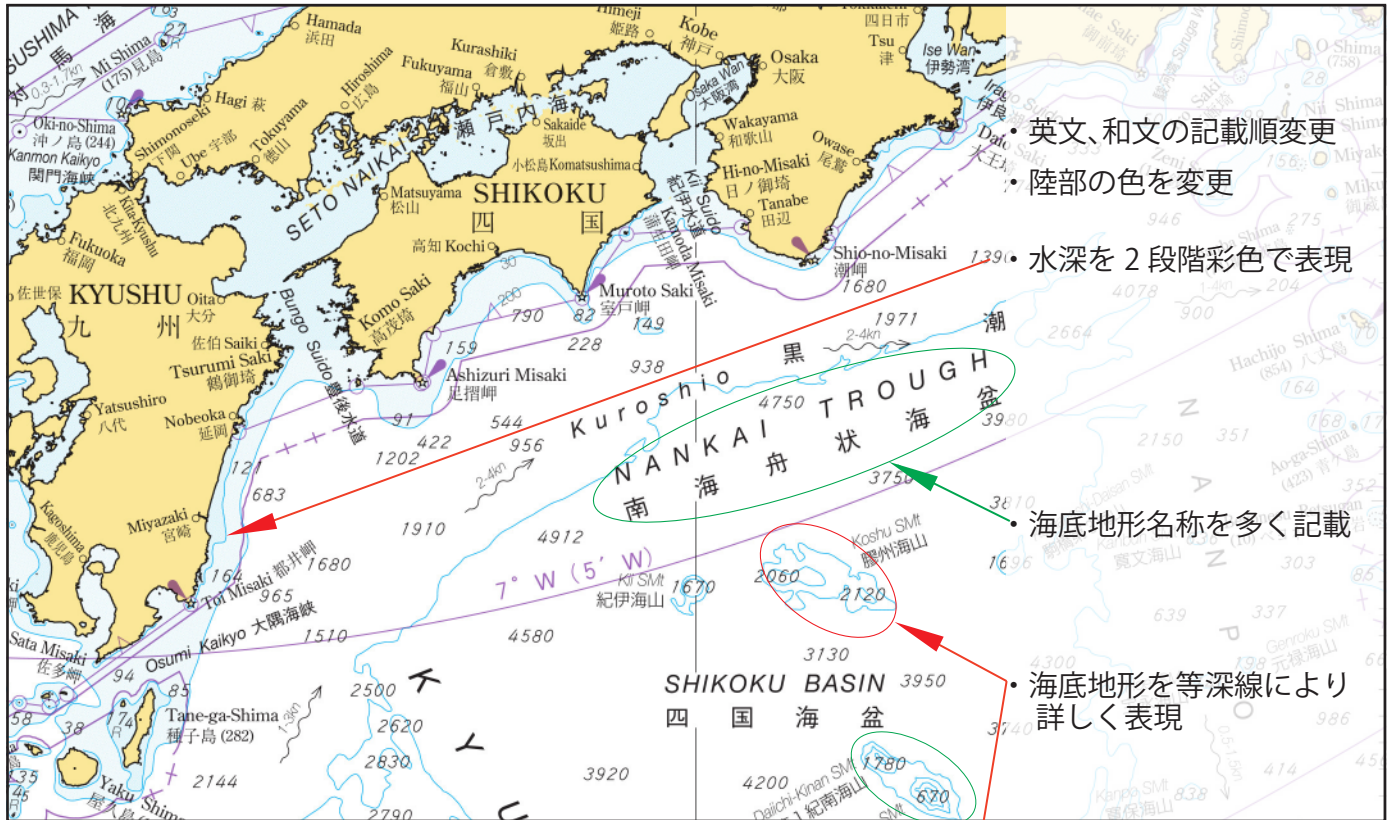
『JPN1 NIPPON AND THE ADJACENT SEAS 日本及近海』

(全体と表題部分)



新シリーズと既刊海図との違い

「JPN1 日本及近海」(新シリーズ)



「W1009 日本及近海」(既刊の海図)

